

11. 学校評価アンケート 集計結果

(1) 学校自己評価システムシート (学校全体用)

本年度努力目標	<p>1 学習指導においては、基礎・基本の徹底をはかるとともに、大学入試に対応できる応用力を育成する。また、生徒が主体的に授業に取り組む環境づくりに努める。</p> <p>2 進路指導においては、一人ひとりの進路に応じた適切な指導と、自己理解に向けた支援を行い、進路実現に努める。</p> <p>3 生徒指導においては、基本的生活習慣の確立に努めるとともに、自他を尊重する寛容と協力の精神の育成に努める。</p>
---------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	おおむね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

第三者委員 5名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (3 月 2 7 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○生徒の学力差が大きく、中には基礎学力が不足している生徒もいる。その克服のためにも、まず「授業」を大切にさせる。	学習指導	○一時間一時間の授業に真摯に臨む姿勢を身に付けさせるための工夫・研究を重ねる。 ○「わかる」ということを実感させる。	○生徒の私語・居眠りが減り、前向きに授業に取り組む姿勢がうかがえるか。 ○「わかる」ことが達成されたか。	私語・居眠りは横ばい状態であり、少数であるがなくなるまではいかないようである。授業にも積極的に取り組む生徒も増えている。	B	私語・居眠りに対しては、今後も継続して根気よく指導をし、一方では、積極的に授業に取り組む生徒も増えているため、その両者を鑑みながら、更なる授業内容の検討も必要と考える。
2	○教室環境を整え、生徒一人ひとりが協同してクラス作りに参加する自発性を養成することに努める。	学級経営	○一人ひとりの役割とその責任を意識づける。 ○他者を常に自己の指標とする協同性を身に付けさせる。	○教室は常に整頓されているか。 ○クラスの友人関係は良好か。 ○役割は責任をもって果たされたか。	清掃面でも改善がみられ、クラス・行事における役割も果たしているようであり、友人関係も概ね良好のようである。	B	全体的には良い方向に向かってはいるが、少数ではあるが、クラス内での役割を果たせず、友人関係も良好ではない生徒もいるので、注意深く見守り、指導していく必要がある。
3	○基本的生活習慣の確立 ○公平・公正な視点からルールの遵守について身に付けさせなければならない。	生徒指導	○あいさつ及び他を思いやる心、また言葉づかいの指導を図る。 ○保護者との連携を密にし、しっかりと協力する。 ○『5分前行動』の徹底	○基本的生活習慣は身に付いたか。 ○保護者の理解を得た指導が行われたか。	あいさつも概ねできており、乱暴な言葉づかいも減少している。また、保護者・生徒共、信頼関係の下に指導ができてきているようである。	A	生徒指導は保護者・生徒からも概ね理解されているようである。しかしながら、社会の環境の変化もあり、それに合わせた様々な校則等の見直しも今後の課題と考える。
4	○目的を明確にし、自己の将来設計をしっかりと考えさせる。 ○自己の現状を知り、一つ上の目標を立てさせる。 ○一人ひとりに懇切に接し進路実現に向ける。	進路指導	○的確な進路指導の充実。 ○一人ひとりの適性を見極めて指導することで個々の意識を明確にする。 ○数値目標を設定させる。	○生徒一人ひとりが自己の進路についてしっかり考えることができたか。 ○掲げた数値目標は達成できたか。	生徒は自己の進路をよく考えるようになっており、各々よく努力をしているようである。数値目標は残念ながら達成できなかった。	A	様々な進路行事も実施することができるようになり、それを元に生徒一人ひとりも自己の進路をより考え、近年増加傾向にあるミスマッチによる大学中退にならないような指導を研究していく必要がある。
5	○すべての生徒が学校行事や部活動に積極的に参加するよう全体で取り組み、より学校の活性化を図る。	学校生活	○すべての生徒が協同して学校行事に参加できるような確かな指導を行う。 ○部活動の活性化と充実した成果をめざして指導する。	○生徒は積極的に学校行事や部活に参加できたか。 ○部活動は充実した成果をあげることができたか。	学校行事も制限の中でも実施することができ、積極的に参加する姿勢が見られた。部活動もダンス部の2年連続全校優勝をはじめ、吹奏楽部、バトン部、生物部も優秀な成績を収めた。	A	体育祭は生徒のみであったが、それ以外の行事では制限付きではあるが、保護者等も参加できるようになった。次年度は、ほぼコロナ前と同じ形で実施することができると考えられ、いま一度、実施方法等も検討していく必要がある。

第 三 者 評 価	
実施日 令和5年 3月 9日	
第三者委員からの意見・要望等	評価
授業見学の時には、生徒は皆真面目に授業を受けていた。授業についていけない生徒に対する指導も約80%が満足しているが、不満を持つ生徒が約20%いることにも注意してほしい。居眠りに対しては、今後も指導を続けてほしい。	B
友人関係が良好なのはいいことである。今後、教育活動を含め、様々な活動に生徒の声をもっと生かしていくことも必要ではないか。	A
生徒指導が行き届いているようであり、自転車通学をはじめ、服装なども乱れておらず、地元市民としても安心して通学風景を見ていられる。カウンセリング体制への満足度が高く、非常に良い。	A
将来の進路を見据えた指導が十分に行われているようであり、生徒の満足度も高く、生徒自身がよく将来について考えられているようである。	A
トイレや空調が新しくなったことは良かった。勉強だけでなく、部活動も盛んであり、文武両道を達成できているのではないかと感じている生徒が多く、安心できる。	A

